

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「飲酒運転と処分の重さ」

◇ 《設問1》(模擬講義の要点整理)の解答例 ◇ ※下線部はキーワードの使用例

飲酒運転には酒酔い運転と酒気帯び運転があり、死亡事故率は飲酒なしの事故の約6倍と高い。運転者は免許取消・免許停止や刑罰、懲戒処分を受け、仕事を失う可能性もある。ある公務員が飲酒運転で物損事故を起こし懲戒免職・退職金ゼロとなり裁判を起こした。地裁・高裁は退職金ゼロの処分は重過ぎると判断したが、最高裁は妥当とした。一方、ある裁判官は退職金の役割を考慮し、退職金ゼロの処分には慎重な判断が必要だと述べた。(200字)

※キーワード

飲酒運転、死亡事故率、懲戒処分、懲戒免職、退職金、裁判官

◇ 《設問2》の論題と評価の視点 ◇

〔論題〕

講義の中で取り上げた「飲酒運転で懲戒免職となったXに退職金も支給されなかった」という出来事について、あなたは退職金ゼロというY市の懲戒処分に賛成ですか。それとも反対ですか。講義の内容も参考にしながら、あなた自身の賛否と理由を600字以内の文章で説明しなさい。

〔評価の視点〕

- ・自身の賛否を明示し、模擬講義の内容に基づいた内容で理由付けをしてある答案は得点率60%を基準とします。理由付けについて、講義内容から掘り下げた記述がある場合にはさらに加点对象とします。
- ・賛否を明示していない答案は得点率40%を基準とします。ただし、賛否を明示しない(できない)適切な理由を挙げている場合には得点率60%を基準とします。
- ・模擬講義の内容以外の適切な事情を賛否の理由として挙げている場合には、得点率80%を基準とします。
- ・基準とする得点率にかかわらず、答案構成に論理矛盾等がみられる場合には減対象とします。
- ・以下のどれかに当てはまる答案は、一定の減点をおこないます。
 - ア) 480字未満である。
 - イ) 行頭の文字下げや段落分けが不適切な箇所がある。
 - ウ) 誤字・脱字等がある。